

第1次文化芸術推進基本計画の総括について

1. 各施策の柱の達成度について

成田市文化芸術推進基本計画を総合的かつ効果的に推進するため、4つの施策の柱を設定し、その柱ごとの取組み（全87）について、進行管理を行いました。

計画策定時に取組みごとに設定した計画最終年度における目標とR5年度の実績を比較し達成状況の確認を行いました。「〈表①〉計画最終年度における各施策の柱の達成状況」は各施策の柱の取組みを達成度別に分類したものです。

なお、その性格が目標設定にそぐわない16の取組みについては「目標値」を設定せず、実績により取組みの状況把握を行っております。

また事業が終了した2つの取組みについても表から除外しております。

目標達成率については、達成度Ⅲ「目標をおおむね達成できた」以上の取組みを対象とし割合を算出しております。

〈表①〉計画最終年度における各施策の柱の達成状況

	V 目標を大きく上回り達成できた	IV 目標を十分に達成できた	Ⅲ 目標をおおむね達成できた	Ⅱ 目標をあまり達成できなかった	I 目標を大きく下回り達成できなかった	合計	達成率 (Ⅲ以上)
施策の柱1 参加を促進する環境づくり	2	11	14	18	10	55	49.1%
施策の柱2 文化芸術の保存・継承	0	0	0	4	2	6	0.0%
施策の柱3 文化芸術による都市間交流の推進・賑わいの創出	0	0	3	4	0	7	42.9%
施策の柱4 文化芸術振興の体制づくり	0	0	1	0	0	1	100.0%
合計	2	11	18	26	12	69	44.9%

目標達成

※その他目標設定にそぐわない取組み16件

（主な取組み：広報なりたの発行、文化財普及・活用）

※事業が終了した取組み2件

（国際市民フェスティバル、国際こども絵画交流展）

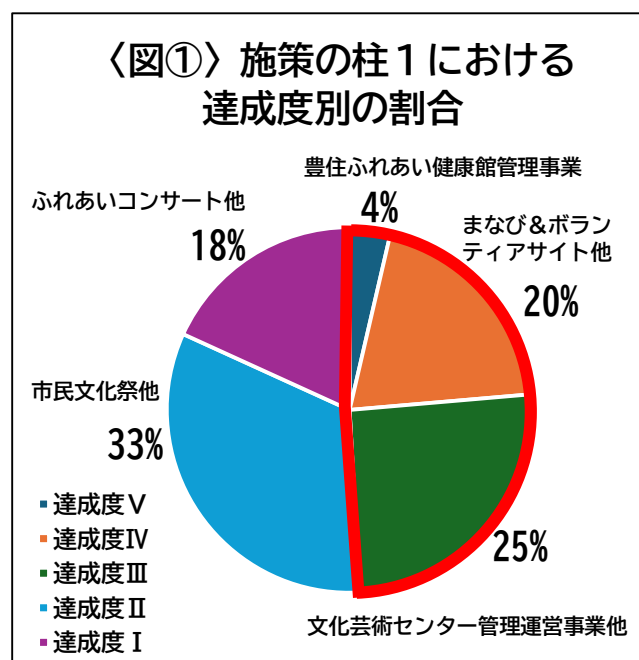
2-1.【施策の柱1 参加を促進する環境づくり】

市民の文化芸術活動への参加を促し、文化芸術のまちづくりを進めるために必要な情報を様々な手段で収集・発信するとともに、市民が文化芸術に接する機会の充実を図りました。また、市民が質の高い文化芸術に触れ、身近な地域で心地よく活動に参加していくことができるよう活動拠点の整備を行うとともに、ユニバーサルデザインに対応した誰もが気軽に利用しやすい施設づくりを推進しました。

●結果

〈表③〉 施策の柱1 及び取組事業における達成状況

施策の体系	達成状況					計	達成率
	V	IV	III	II	I		
柱1 参加を促進する環境づくり						55	49.1%
(1) 文化芸術関連情報の整備		5	1	1		7	85.7%
(2) 文化のまちづくりを進める意識づけ		2	6	8	5	21	38.1%
(3) 活動拠点の整備	1	2	3	5	2	13	46.2%
(4) 利用しやすい施設づくり	1	2	4	4	2	13	53.8%



目標を達成した取組みは約50%ありました。そのうち施策の体系における「(1) 文化芸術関連情報の整備」については、取組みの大半が達成度IVとなりました。

一方、「(2) 文化のまちづくりを進める意識づけ」については、市民文化祭やふれあいコンサートなどの市民参加型の対面イベントが目標を達成できませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響により市民参加型の対面イベントについては、目標値を達成することができなかった取組が多い結果となりましたが、コロナ禍以降、回復は鈍くはありますが、改善の傾向が見られます。

2-2.【施策の柱2 文化芸術の保存・継承】

代々受け継がれてきた文化財や伝統芸能などの文化芸術資源を引き継ぎ、さらに次世代に伝えていくために必要な文化芸術の保存・継承に取り組みました。

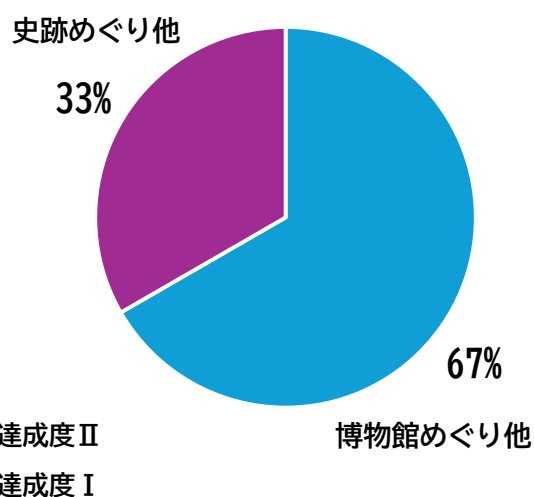
また、鑑賞や体験の機会を充実することで、市民が伝統的な文化芸術に関心を抱く契機とし、将来的な伝承者の確保を図りました。

●結果

〈表④〉施策の柱2 及び取組事業における達成状況

施策の体系	達成状況					計	達成率
	V	IV	III	II	I		
柱2 文化芸術の保存・継承						6	0.0%
(1) 文化芸術資源の保存				1		1	0.0%
(2) 伝統的な文化芸術資源の継承				3	2	5	0.0%

〈図②〉施策の柱2 における達成度別の割合



目標設定をした6つのうち、目標を達成した取組みはありませんでした。いずれも達成度がⅠとⅡであり、令和5年度の実績は目標値を下回りました。達成度Ⅱとなった取組みは博物館めぐりや歴史講演会等があり、達成度Ⅰとなった取組みは史跡めぐり等があります。いずれの取組も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことにより目標達成ができませんでした。

達成度Ⅰとなった「史跡めぐり」については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から実施ができず、令和5年度に4年ぶりの開催したものの、コロナ禍前と比べ参加者が少なく目標値には至りませんでした。一方で、「博物館めぐり」については定員を越える応募があり抽選となるなど、種類により達成度以上に効果があった取組みもありました。

2-3.【施策の柱3 文化芸術による都市間交流の推進・賑わいの創出】

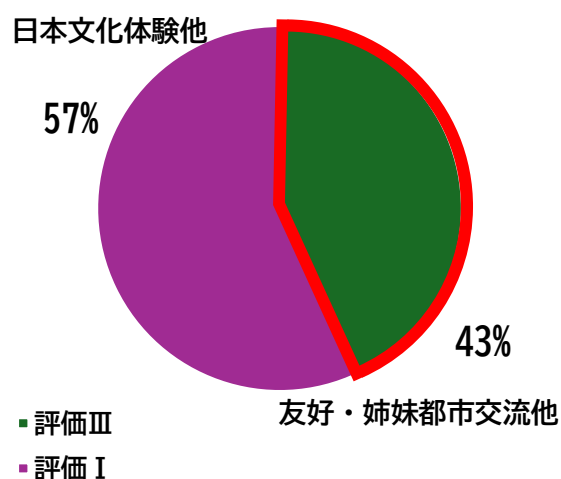
2021（令和3年）に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、文化芸術を通じた都市間交流を推進するとともに、本市の文化芸術資源の魅力を戦略的かつ効果的に発信することで、文化芸術を活用した賑わいを図ることを目的として推進しました。

●結果

〈表⑤〉施策の柱3及び取組事業における達成状況

施策の体系	達成状況					計	達成率
	V	IV	III	II	I		
柱3 文化芸術による都市間交流の推進・賑わいの創出						7	42.9%
(1) 文化芸術を通じた都市間交流の推進			2			2	100.0%
(2) 文化芸術を活用した賑わいの創出			1		4	5	20.0%

〈図③〉施策の柱3における達成度別の割合



目標設定をした7件の取組については、3つの取組みが達成度Ⅲとなり4つの取組みが達成度Ⅰとなりました。柱3における達成率は42.9%でした。

友好・姉妹都市交流については、令和2年度から令和4年度まで派遣・受入れ事業が実施できませんでしたが、令和5年度から再開したことで目標値を達成しました。

達成度Ⅰに該当した取組みの多くは観光客を対象とした事業であるため、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかったと思われます。インバウンド向けの事業については、特に大きな影響を受けました。また市政モニターアンケートでは、成田市の強みである「国際的」・「歴史的」な街を活かしたイベントなどの開催を希望する意見がありました。

2－4.【施策の柱4 文化芸術振興の体制づくり】

本市の文化芸術活動を牽引し、支える人材の発掘・育成・確保に努めるとともに、文化芸術振興における施策を総合的に推進する体制づくりを推進しました。

具体的な取組みとして、ふれあいコンサートやスカイタウンコンサートなどにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響があった令和2年度から令和4年度の間も感染症対策を講じながら継続して開催し、本市にゆかりのあるアーティストや若者が日頃の文化芸術活動の成果を発表する機会の提供に努めました。

●結果

〈表⑥〉施策の柱4 及び取組事業における達成状況

施策の体系	達成状況					計	達成率
	V	IV	III	II	I		
柱4 文化芸術振興の体制づくり						1	100.0%
(1) 人材の発掘・育成			1			1	100.0%
(2) 文化芸術振興を推進する体制づくり							—

施策の柱4にて指標を設定した取組みは青少年劇場の1件のみで、達成度はⅢとなりました。成田市文化団体連絡協議会補助金などの7件は、その設定が数値目標にそぐわないとし、「設定なし」に分類しております。

また市政モニターアンケートでは、「個人単位の文化芸術活動に対してのサポートが少ない」、「作品を発表する機会が少ない」など、人材の発掘・育成、創作活動の支援など文化芸術振興の体制づくりに関する意見が見受けられました。

本市の文化芸術のすそ野を広げるためには、より多くの文化芸術活動に目を向けて発表、展示及び各種講座など様々な文化芸術に触れる機会の場を設けるなど支援の在り方を含めて、今後検討していく必要があります。

3. 最終年度における成果目標の達成状況について

本計画では、施策の進捗や達成状況を確認するため、3つの成果目標を設定しています。成果目標の確認方法として、「インターネットによる市政モニターへの文化芸術に関するアンケート調査」において質問項目を設けています。計画策定時から計画の最終年度である令和5年度までの結果の推移は以下のとおりです。

〈表⑦〉年1回以上、市内で文化芸術鑑賞を行った市民の割合

策定前 平成29年度	参考値 令和元年度	参考値 令和2年度	参考値 令和3年度	参考値 令和4年度	現況値 令和5年度	目標値 令和5年度
63.1%	53.1%	39.4%	42.8%	38.2%	41.9%	72.0%

〈表⑧〉文化芸術活動を行った市民の割合

策定前 平成29年度	参考値 令和元年度	参考値 令和2年度	参考値 令和3年度	参考値 令和4年度	現況値 令和5年度	目標値 令和5年度
53.9%	41.3%	20.8%	22.0%	31.8%	41.9%	60.0%

〈表⑨〉本市は「文化芸術活動が盛んなまち」だと思う市民の割合

策定前 平成29年度	参考値 令和元年度	参考値 令和2年度	参考値 令和3年度	参考値 令和4年度	現況値 令和5年度	目標値 令和5年度
58.0%	53.0%	45.0%	47.6%	50.6%	50.3%	65.0%

3つの成果目標については、いずれもコロナ禍で減少しておりますが、流行の収束に伴い回復傾向にあります。

「年1回以上、市内で文化芸術鑑賞を行った市民の割合」については、令和4年度と比較すると数値が上昇していますが、計画策定前の水準までは回復していません。

「文化芸術活動を行った市民の割合」については、計画期間中で最も高い数値となりました。

「本市は『文化芸術活動が盛んなまち』だと思う市民の割合」については、コロナ禍においても大きく数値を下げることはありませんでした。これは施策の柱1にて達成度が高かった「(1) 文化芸術関連情報の整備（情報発信）」を積極的に実施してきたことと関連が高いと考えられます。

4. 総括

成田市文化芸術推進基本計画では、令和元年度から令和5年度を計画期間として「時空をつなぐ心豊かな文化・国際都市 成田」を基本理念として、4つの施策の柱と10の施策を定め、文化芸術振興施策に取り組んできました。

本計画の期間中には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言が発令されるなど、様々な文化芸術イベントの中止や開催規模の縮小、文化施設の休館や利用制限により文化芸術の鑑賞や文化芸術活動の機会が著しく減少するなど大きな影響を受けました。

現在、文化芸術鑑賞や文化芸術活動の機会は平常時の状況に戻りましたが成果目標の現状値が示しているとおり、計画策定時の目標値には達しませんでした。しかしながら、3つの成果目標はいずれも増加傾向にはあります。

今後も市民が文化芸術に触れることができる機会を増やしていくとともに、SNSの普及に合わせ、それらを活用した広報の充実など様々な角度からアプローチを行い、一人でも多くの市民に文化芸術に興味・関心を持ってもらえるような取組を実施していきます。

また、本市の文化芸術振興を推進する施策について、進捗や達成状況の検証を行うとともに、必要に応じて見直しや新たな取組みを次期計画に追加し、令和6年度から令和9年度を計画期間とする第2次成田市文化芸術推進基本計画を効果的に推進していきます。